

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
16	2007/1/31	68049	生化学工業株式会社	ブタ歯胚組織使用歯周組織再生用材料	エナメルマトリックスデリバティブ	幼若ブタの歯胚	スウェーデン	組成・構造	有	無	無	インフルエンザ	J Virol 2006; 80: 5092-5096	米国で2004年に咳のあるブタから新規の再集合体H3N1ブタインフルエンザウイルス(SIV) (A/Swine/Minnesota/00395/2004)が同定され、系統学的分析の結果、ヘマグルチニンは現代型クラスターIII H3N2 SIVのそれに類似し、ノイラミニダーゼ配列は現代型H1N1起源であった。内在遺伝子はブタ、ヒトおよびトリのインフルエンザウイルス起源であり、現代型米国クラスターIII H3N2 SIVに類似していた。SIVの間で再集合体が生じている更なる証拠である。
17	2007/2/5	68050	東洋紡績株式会社	滅菌済み開心術用チューブ及びカテーテル膜型人工肺補助循環装置	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2006年8月8日	中国におけるトリインフルエンザの状況(update13) : 2006年8月8日に中国衛生省は、2003年11月に遼りH5N1トリインフルエンザウイルスによるヒト感染症例をレトロスペクティブに確認した。症例はBeijingを拠点とする軍人の24才男性で、2003年11月25日に発症し、重症呼吸器疾患で12月3日に死亡した。本症例の確認により、中国本土における最初のH5N1ヒト感染事例が明らかとなり、現在のアウトブレイクにおいて最初に確認された症例となる。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20061225.3605	2006年12月24日、韓国South Chungchong地方Asanで発生したトリインフルエンザのアウトブレイクで、ブタ4000頭およびニワトリ2000羽以上が処分された。2006年12月23日、エジプトGharbiaのヒト検体がトリインフルエンザウイルス陽性であった。同国で18例目のヒト陽性例である。
												感染	OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日	中国のブタにおける「ブタ高熱病」、報告日2006年9月12日。2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												感染	ProMED-mail20061129.3387	2006年の秋に中国に旅行した英国の獣医師によると、「ブタ熱」は中国の養豚業界に拡大している。ブタ生殖器および呼吸器症候群、ブタサーコウイルス2型および他の疾患を含めて、今年の「ブタ熱」アウトブレイクは中国の養豚場を席卷し、100万頭以上の被害が出た。
												感染	ProMED-mail20060903.2508	中国南部で最近発生したブタの病気に対して、農業省は2006年8月31日に通知を出し、生産者や屠殺場での検疫の強化、病気のブタを屠殺しない、食べない、売らない、輸送しない、ならびに安全に処分することを命令した。2006年6月末以降、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とするブタの病気が発生している。
												口蹄疫	OIE Disease Information 19(32) 2006年8月10日	中国における口蹄疫のFollow-up report No. 10 (2006年7月29日から8月7日まで)。病因の同定-口蹄疫ウイルスセロタイプアジア1。新規アウトブレイクの詳細-Gansu省Huining郡。ウシ疑い例286例、症例230例、処分286例。ヒツジ/ヤギ疑い例139例、処分139例。ブタ疑い例182例、処分182例。
18	2007/2/7	68051	泉工医科工業株式会社	人工心肺用血液回路膜型人工肺 人工心肺装置の付属品 ヘパリン使用人工心肺用除泡器	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国	製造工程	有	無	無	旋毛虫症	ProMED-mail20060719.1983	米国メリーランド州農業局はCarroll郡のブタ2頭が旋毛虫症陽性であったことを受け、旋毛虫症の拡大を懸念している。これらのブタの農場主とその息子は無許可で屠殺場を営業していた罪などで逮捕された。その農場では死んだ動物が積み重ねられ、生ゴミを餌としており、栄養失調のブタが旋毛虫症陽性であった。この農場から逃げたと思われるブタ3頭も旋毛虫症陽性であることが確認された。
19	2007/2/19	68052	平和物産株式会社	人工心肺用血液回路	ヘパリン	豚小腸	イタリア	組成・構造	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
20	2007/2/22	68053	ニプロ株式会社	ヘパリン使用体内植込み用カテーテル ヘパリン使用長期的使用注入用植込みポート ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロデューサキット ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル ヘパリン使用体外式膜型人工肺	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	細菌感染	Lett Appl Microbiol 2006; 43: 424-429	ブタから分離されたBisgaard taxon42が、今までウマからのみ分離されている[Pasteurella] caballiであるかを調べた。3大陸の5つの国のウマ[P.] caballiと比較したところ、表現型の特徴は差がなく、リボタイピングとパターン分析、16S rRNA配列、DNA-DNAハイブリダイゼーションの結果、taxon 42は[P.] caballiに属することが確定した。[P.] caballiはウマだけでなく、ブタも感染源になる可能性がある。
												旋毛虫症	Acta Tropica 2006; 97: 247-251	2000-2003年に中国の6つの省または自治区においてヒトでの旋毛虫感染の血清疫学的調査を行ったところ、血清学的有病率は3.57%であった。同期間に8つの省または自治区で17件のアウトブレイクがあり、828症例と11例の死亡が記録された。死亡例の全てが肉の生食を習慣とする南西部で発生した。豚肉が主な感染源であるが、イヌ、イノシシ、クマの肉も感染源となっている。住民に生肉を食べないように指導することが旋毛虫減少に有効である。
												インフルエンザ	ProMED-mail20070108.0077	米国アイオワ州東部でブタインフルエンザ陽性患者1例が確定された。州当局は警戒の必要はないとしている。患者は入院せずに回復した。ヒトからヒトへの感染の証拠はなかった。このウイルスはヒトに感染しにくく、ヒトはかなり抵抗性を持っている。
												HEV	J Infect Dis 2006; 193: 1643-1649	IV型HEVについてヒトとブタ宿主との関係を調べるため、各々のウイルス保有率およびウイルスの遺伝的性質を調べ、また養豚場と感染のリスクとの関係を評価した。中国東部の2つの養豚地区では、ブタ9.6%、健康人0.3%で大便中からHEVが検出され、IV型サブタイプ2つが両者に共通していた。養豚に従事するヒトは他の職業のヒトより感染リスクが74%高く、養豚場の下流の住民は上流の住民より感染リスクが29%高かった。IV型HEVはブタからヒトへ自由に感染すると考えられる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
21	2007/2/22	68054	ガンプロ株式会社	ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ヘパリンナトリウム	豚腸粘膜	中国	組成・構造	有	無	無	鳥インフルエンザ	国立感染症研究所感染症情報センター 2007年1月11日	2007年1月10日付けWHO更新情報によると、中国保健省はH5N1鳥インフルエンザウイルスによるヒト感染症例を確認した。安徽省在住の37歳男性で、2006年12月10日に発症し、17日に入院した。患者は1月6日に退院し、回復しつつある。感染源として病鳥への暴露の可能性に関する調査が行われている。密接接触者は医学的監視下に置かれていたが、全員健康であり、12月29日に解除された。
22	2007/3/1	68055	株式会社ジェイ・エム・エス	ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用チューブ接続用コネクタ ヘパリン使用単回使用人工心肺用熱交換器 ヘパリン使用体外式膜型人工肺 ヘパリン使用心臓血管縫合補助具 ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ	ヘパリン	ブタ腸管粘膜	スペイン	組成・構造	有	無	無	レンサ球菌感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 914-920	2005年7月中旬から8月末の間に中国四川省で215例のヒト連鎖球菌感染が報告され、うち66例は確定例であった。全ての感染例は、原因不明で死んだブタや病気のために食用になったブタを屠殺する過程で暴露した農業従事者で発生した。61例(28%)が連鎖球菌毒素ショック症候群を呈し、うち38例(62%)が死亡した。その他、敗血症(24%)と髄膜炎(48%)または両者であった。単離された全ての菌はtuf、種特異的16S rRNA、cps2J、mrp、ef、およびslyIに対する遺伝子に陽性で、単一の株であった。
												HEV	厚生労働科学研究費補助金 本邦に於けるE型肝炎の診断・予防・疫学に関する研究班 平成17年度分担研究報告書: 44-46	ELISA法によるIgAクラス抗HEV抗体測定系は顕性HEV感染例のみならず、不顕性HEV感染例でもIgMクラス抗HEV抗体測定系よりも優れていた。飼育ブタと野生イノシシでのHEV感染状況を全国で調査し、感染実態を明らかにするとともに、遺伝子配列に多様性を示すHEV株を分離した。また北海道のE型肝炎患者を対象とした分子疫学的調査研究を行った。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	内科 2006; 98: 865-871	すべてのインフルエンザウイルスの起源は鳥、とくに水鳥が保有する鳥インフルエンザにある。鳥インフルエンザウイルスが変異を起こして、ヒトが優勢にもつインフルエンザウイルスに対するレセプターを認識する鳥インフルエンザウイルスが出現した場合、ヒトにパンデミックを起こす新型インフルエンザの原因ウイルスになる可能性がある。
												感染	ProMED-mail20070114.0185	中国Xian農業局は2007年1月4日に「ブタ高熱病」は制圧されたと発表した。この病気は人畜共通ではない。ブタ5866頭に発生し(発生率43.7%)、2390頭が死亡した(致死率17.8%)。
23	2007/3/6	68056	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	ヘパリン使用サーモダイリューション用カテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	米国、中国、及びカナダ	組成・構造	有	無	無	インフルエンザ	CURRENT THERAPY 2006; 24: 1023-1026	渡りガモはすべてのヘマグルチニンとノイラミニダーゼ亜型のウイルスの自然宿主である。カモは夏に北方の営巣湖沼でウイルスに水系経口感染し、結腸の上皮細胞で増殖したウイルスを糞便とともに排泄する。ヒトのウイルスとカモのウイルスがブタに同時感染すると両ウイルスの遺伝子再集合体が生じる。その中でHA遺伝子を持ちヒトに伝播したものが新型ウイルスである。
												インフルエンザ	J Infect Dis 2006; 194: S77-81	インフルエンザパンデミック準備計画はヒトの罹患と経済および社会への負の効果を軽減するために重要である。CDCはいつ、どこでアウトブレイクが起ころうと迅速、効果的で成功する対策を保証するために活動している。戦略的計画に対する内容は季節的インフルエンザの経験と過去のインフルエンザパンデミックに関する知見に基づいている。公衆衛生学的観点からはワクチン、抗ウイルス薬、医療品、封じ込め、コミュニケーションによる救命に焦点を当てた地域から地球レベルまでのネットワークの構築が必要である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
24	2007/3/9	68057	ユニチカ株式会社	ウロキナーゼ使用中心静脈用カテーテル ウロキナーゼ使用 緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル ウロキナーゼ使用胸部排液用チューブ ウロキナーゼ使用オブチュレータ	ウロキナーゼ	人尿	中華人民共和国	組成・構造	無	無	無			
25	2007/3/13	68058	株式会社ウベ循環研	ヘパリン使用人工心肺用回路システム	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国	組成・構造	無	無	無			
26	2007/3/16	68059	東レ株式会社	植込み型医薬品注入器 滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル その他の外科・整形外科用手術材料(涙液・涙道シリコンチューブ) 滅菌済み体内植込みチューブ及びカテーテル 合成樹脂製人工血管	ヘパリンナトリウム	豚腸粘膜	ブラジル、中国	組成・構造	無	無	無			
27	2007/3/22	68060	日本シャーウッド株式会社	ウロキナーゼ使用中心静脈用カテーテル ウロキナーゼ使用胸部排液用チューブ ウロキナーゼ使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ウロキナーゼ	ヒト尿	中華人民共和国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
28	2007/3/28	68061	エドワーズライフサイエンス株式会社	ヘパリン使用静脈用カテーテルイントロデューサ ヘパリン使用サーモダイリレーション用カテーテル ヘパリン使用バルーン付ペーシング向け循環器用カテーテル ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロデューサキット ヘパリン使用体外式ペースメーカ用心臓電極 ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用人工心肺用回路 ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用人工心肺用貯血槽	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	中国・米国・カナダ・イタリア	組成・構造	有	無	無	感染	OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日	中国のブタにおける「ブタ高熱病」、報告日2006年9月12日。2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。
29	2007/3/28	68062	トノクラ医科工業株式会社	ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用体外式膜型人工肺	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	アメリカ合衆国	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Report 1(3) 2007年1月19日	英国で4例目の輸血関連vCJD可能性例が診断された。この症例は供血後約17ヶ月でvCJDを発症したドナーからの赤血球輸血を受け、8年半後にvCJDを呈した。このドナーは3例目の輸血関連vCJD症例へのドナーでもある。4例目の症例はプリオン蛋白遺伝子のコドン129がメチオニンホモ体であった。まだ生存している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	英国保健省 2007年3月20日	2007年3月20日現在、感染したトリとの接触の結果、ヒト281名がトリインフルエンザに感染し、その内169名が死亡した。H5N1がヒトからヒトへ簡単に伝染する能力を獲得したとの明確な根拠はないが、ウイルスがこの能力を獲得するか、またはヒトのインフルエンザウイルスと混ざって新しいウイルスを作ることが懸念されている。2007年2月3日にSuffolkで家禽にH5N1アウトブレイクが発生したが、現在のリスクレベルは極めて低い。また、家禽に密接に接触するヒトのために無料の季節的インフルエンザワクチン接種が提供される予定である。
												感染	OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日	中国のブタにおける「ブタ高熱病」、報告日2006年9月12日。2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。
												狂犬病	ProMED-mail20061118.3303	2006年11月17日、京都保健所は、2006年8月末にフィリピンで野良犬に手を噛まれ、2006年11月1日に帰国した後、狂犬病を発症した60歳代の男性が死亡したと発表した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												HHV-8感染	N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338	2000年12月から2001年10月に輸血を受けたウガンダのKampalaの患者1811例のうち、輸血前にヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)血清陰性であった患者991例について追跡調査を行った。そのうち43%(425例)にHHV-8血清陽性血が輸血された。991例中41例にHHV-8セロコンバージョンが起こったが、セロコンバージョンのリスクは陽性血を輸血された患者の方が陰性血を輸血された患者より有意に高かった。
												トリパノソーマ症	CDC/MMWR 2006; 55(29); 798-800	ロサンジェルスの子心臓移植患者2名で、臓器移植によるシャーガス病伝播が見られた。1例は拒絶反応による合併症で死亡し、もう1例は心不全で死亡した。両例ともドナーがTrypanosoma cruzi感染者であったことが明らかとなった。米国における固形臓器移植によるT. cruzi伝播としては4例目と5例目になる。
												インフルエンザ	J Virol 2006; 80: 12229-12235	シベリアのIce湖の氷と水の中にインフルエンザAウイルスの遺伝子が保存される事が明らかとなった。この湖は渡り鳥がアジア、北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカへ移動する途中に訪れる所であり、インフルエンザAウイルスは秋の渡りの初めに湖に預けられ、氷中に保存され、春にトリが戻るときに氷が解けてウイルスが放出される。この時、前年のウイルスと南の地でトリが獲得した新しいウイルスとの間の一時的な遺伝子の流れが促進される。
30	2007/3/28	68063	カーディナルヘルス・ジャパン228株式会社	滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル	ヘパリン(ナトリウム塩)	ブタ小腸粘膜	米国・カナダ	組成・構造	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC/MMWR 2006; 55(44): 1204-1205	2006年1月1日から11月7日の間に米国で計41州およびコロンビア地方からウエストナイルウイルスのヒト症例3830例がCDCへ報告された。神経侵襲性疾患1339例、ウエストナイル熱2324例、他の臨床症状167例、死亡例119例である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												炭疽	ProMED-mail20060916.2635	カナダSaskatchewanにおいて153施設で炭疽が確認された。これら施設における動物(ウシ、ウマ、ブタ、ヒツジ、バイソン、シカ、ヤギ)の死亡は783件である。Manitoba においては変更ない。
31	2007/3/29	68064	マツケ・ジャパン株式会社	ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用冠動脈灌流用カテーテル ヘパリン使用心室カニューレ ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用人工心肺用貯血槽 ヘパリン使用体外式膜型人工肺 ヘパリン使用大静脈カニューレ ヘパリン使用大腿動静脈カニューレ ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用汎用吸引用カテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	イタリア、中国	添加物	有	無	無	口蹄疫	ProMED20060101-0010	12月6日以降、中国山東省都済南市Changqing地区で発生した家畜の異常はアジア1型口蹄疫であった。山東省当局は処分、消毒、予防接種を指示した。鳥インフルエンザや口蹄疫などの対策として、全ての村に感染症モニタリングの職員を配置するべきである。
												口蹄疫	ProMED-mail20070117.0224	中国Yuen Longの養豚場で口蹄疫が発生したが、今までのところ異常な死亡例は観察されていない。当局調査官は2007年1月10日に農場を検査し、病気のブタから採取した組織検体を検査したところ、口蹄疫ウイルス陽性であった。農場全体の消毒およびブタおよびヒトの移動の管理を命令した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												口蹄疫	ProMED-mail20061117.3292	アジア1型口蹄疫のアウトブレイクが中国Gansu省Chongqing CityのWanzhou地区およびYongdeng Countyで報告された。Wanzhou地区でのアウトブレイクは2006年11月10日に始まり、ウシおよびブタに影響を与えた。Yongdeng Countyでは2006年11月10日に始まり、ウシに影響を及ぼした。
												鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2006年8月14日	中国におけるトリインフルエンザの状況(update14)：中国衛生省は、H5N1トリインフルエンザウイルスによる同国で21例目のヒト感染症例を確認した。症例はXinjiang Uygur自治区の62才男性で、2006年6月19日に発症し、7月12日に死亡した。症例の検体に関する初期検査は陰性であった。7月および8月に検査を繰り返し行ったところ、最終的に陽性結果であったことが、2006年8月14日に衛生省により確認された。症例の疫学的調査により死亡または病気のトリへの暴露歴を明らかにすることはできず、発症前月に旅行歴はなかった。中国において現在までに確認された21例のうち、14例が死亡している。
												鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2007年1月10日	中国におけるトリインフルエンザの状況：中国衛生省は、H5N1トリインフルエンザウイルスによる同国で22例目のヒト感染症例を確認した。症例はAnhui省の37歳男性で、2006年12月10日に発症し、12月17日に入院し、2007年1月6日に退院し、回復しつつある。この男性は農業従事者で裏庭で多くのトリを飼っていたらしいが、病気のトリに接触したかは不明である。
												感染	ProMED-mail20061223.3592	2006年12月22日の北京当局の発表によれば、最近、北京Tongzhou地方のGuoxian町Guoxian村で発生しているブタの病気はブタマイコプラズマ肺炎とブタコレラの合併症であった。2006年12月初めに80頭のブタが発病したが、病気のブタはテンのえさとして業者に売られた。この後すぐに、当局は病気や死んだブタを追跡し、養豚場を消毒し、感染の拡大を防いだ。